



災害に備えましょう

見やすいところに貼っておきましょう

薩摩川内市役所

23-5111

薩摩川内市防災ホームページ
https://www.satsumasendai-bousai.jp/



薩摩川内市防災HP
二次元コード

防災マップは、日ごろから家族等で確認しておきましょう

防災マップには、危険から身を守るための大切な情報が書かれています。災害が発生する恐れが高い区域のほか、避難場所、避難経路などを確認しておく、スムーズな避難につながります。



◆日ごろの備えと早めの避難が大事です

新警戒レベル	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮	(警戒レベルごとの) 住民がとるべき行動
警戒レベル5相当	1級河川などの大河川の氾濫	低地の浸水や大河川以外の氾濫	急傾斜地のがけ崩れや土石流	海水面の上昇や波の打ち上げによる浸水	命の危険 直ちに安全確保!
-----〈警戒レベル4までに危険な場所からかならず避難!〉-----					
警戒レベル4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
警戒レベル3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
警戒レベル2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認(避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど)
警戒レベル1	早期注意情報				災害の心構えを高める

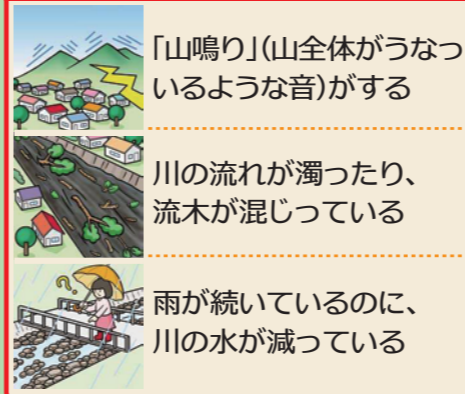
土砂災害から身を守るために

◆土砂災害の前兆を知ろう!

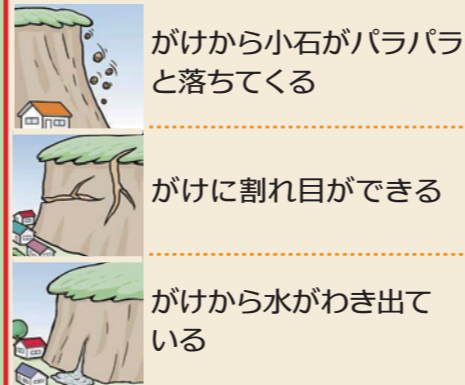
土砂災害が発生する前には、次のような現象が起こると言われています。

大雨や長雨時は要注意!

土石流の前兆



がけ崩れの前兆



※これらの前兆現象がなく、土砂災害が発生する場合があります。

地震に備えて

巨大地震はいつどこで発生するかわかりません。震度6や震度7などの大きな揺れが観測された地域では、比較的古い木造の建物の倒壊により、多くの犠牲者が発生しています。

木造住宅の耐震化

地震による木造住宅の倒壊から自分や家族の生命・財産を守るために住宅の耐震化を図ることが重要です。

昭和56年5月以前の旧耐震基準で建築された木造住宅は、耐震性が不十分のものが多く存在します。このため、耐震性が不十分な住宅を解消することを目的に、木造住宅の耐震化に向けた支援制度が準備されています。
(建築住宅課建築指導グループ)



地震が起きる前にできること

家具を固定したり、家具が倒れた際に出口を塞がないように家具の配置を考える。

地震の揺れにより、倒れた家具に挟まれたり通路を塞がれたりして、続けて起こる地震に備えて避難することや、コンロの火を消したりすることができなくなってしまう。



地震が起きたら

室内にいる時に地震が起きたら、まず体勢を低くして丈夫なテーブルや机の下に入って、頭を守りましょう。屋外では倒れそうなブロック塀や上から落ちてくるガラスなどから離れて揺れが止まるまで動かずじっとしていきましょう。



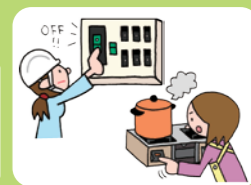
地震の揺れが収まったら

地震による火災を防ぐために、使用していた火を消し、出口を確保するため窓や戸を開けましょう。海岸や河口付近にいる時に、強い揺れや弱くても長い揺れを感じたときは、津波を警戒し、すぐに高いところに避難しましょう。



避難するときは

電気のブレーカーを切り、ガスの元栓を閉めて、近所の方にも声をかけて避難しましょう。また、原則として徒歩で避難しましょう。車を使うと渋滞を引き起こすことがあります。



避難に備えて

家族で事前に近くの避難場所を確認しておき、家族が離れ離れになった場合に備えて、NTTの「災害伝言ダイヤル」などの使い方を確認しておきましょう。また、目安として最低3日間程度の水や食料、家族が必要とする生活必需品の備蓄と非常持出品を準備しておきましょう。



●災害が発生する前兆現象に気づいたら...

- ☑ すぐに安全な場所に避難してください。
- ☑ できたら、ご近所へも声掛けをお願いします。
- ☑ 自治会長や市役所等への連絡をお願いします。

夜間に大雨が予想される時は...



- 暗くなる前に避難!
- お年寄りや体が不自由な方がいる場合は移動時間を考えて早目の避難を!

夜間・大雨の中での避難は避けましょう

外に出ることが危ないときは...



雨が激しく外に出ることが困難な時は、斜面や川から離れた、できれば2階以上の部屋へ避難しましょう